

## 数値で見る「子育て」



保育園・幼稚園の数 **43**カ所

※認定こども園、地域型保育施設を含む



放課後児童クラブの数 **27**カ所

※令和6年4月1日現在



0～14歳の人口 **13,470**人

※令和6年8月1日現在



ファミリー・サポート登録会員数  
依頼会員 **387**人 / 提供会員 **89**人

※令和6年4月1日現在



子育て支援センターの数 **8**カ所



市内事業者の声

ぽこあぽこ



スタッフ・保育士  
つたあけの  
月田 麻友子さん

赤ちゃんエリア、2～3歳エリア、4歳以上エリアと区分けして安全に楽しく遊べるよう配慮されています。

イオンタウン江別の2階にある、江別市が運営する屋内型の遊び場。0歳から小学6年生までの子どもと保護者が無料で利用できます。子育てに関する講習会や「英語であそぼう」、スポーツ体験などの親子で楽しめるイベントの開催、子育て情報の提供、子育て支援コーディネーターによる子育て相談など、さまざまな形で子育てを支援しています。

開設10周年となった2023年には大型複合遊具を入れ替えるなど大幅リニューアルし、よりゆとりと遊べるようになりました。

「スタッフが3～4人常駐しているので、安心して遊べます」という声をいただくことが多いです。子育ての相談にも応じているので、気軽に来てほしいです」とスタッフの月田麻友子さんは話します。

ぽこあぽこ 野幌町10-1 イオンタウン江別2階



## 江別市が取り組む子育て支援



### ファミリー・サポート・センター

子どもの継続的・定期的な預かりや送迎などを手助けしてほしい人(依頼会員)と、手伝いのできる人(提供会員)で会員組織を作り、地域の人みんなで子育てを応援する仕組みです。



### 子育て支援コーディネーター

各地域で開催されている「あそびのひろば」や子育てひろば「ぽこあぽこ」、市役所子ども育成課などで、子育て家庭が必要とする情報をお知らせしたり、子育てに関する相談を受けたりしています。



### 子育て支援センター

就学前の子どもと保護者が、自由に遊べる交流の場。楽しいおもちゃであふれる空間で遊んだり、ほかの親子と交流したりすることができます。身近に住む子育て仲間と知り合う機会にもなります。



### 病児・病後児保育

保護者が仕事などの理由で、病気の子どもを保育できない場合に、保護者に代わって保育する病児・病後児保育施設が市内に2カ所があります。乳幼児から小学6年生まで利用できます。うち1カ所は小児科に併設されています。



### マタニティスクール プレマ・プレバパ向けの育児体験

安心して出産を迎えられるよう、また出産後の育児に関する不安を軽減できるよう実施しています。



### 母子健康手帳の交付

交付時には保健師や助産師が個別に面談を行い、安心して産み育てるための情報を伝えたり、相談に応じたりしています。

## 子育て環境が充実

江別市では、妊娠・出産期をサポートする事業の実施や、子育て中の方が集まることのできる場所を設けることで地域で子育てを支える仕組みをつくり、子どもを安心して産み育てられるまちを目指しています。

市内には40カ所以上の保育園、認定こども園、幼稚園などがあります。都市部に比べて敷地が広く、園庭のある園が多いため、子どもがのびのび過ごせる環境

が整っています。

就学前の子どもと保護者が自由に遊び、友達づくりをしたり、子育ての不安や悩みを相談したりできる交流の場として、子育て支援センターがあります。市内8カ所に設置され、子育てに関する講演会・講習会の実施や情報の提供なども行っています。

まちが一つとなつて、子育てを応援しています。



### 産後ケア事業

お母さんが産後の体調管理や育児指導・サポートを受け、安心して子育てができるよう、産科医療機関・助産院で産後ケア事業を実施しています。



### こんにちは赤ちゃん事業

生後4カ月までの赤ちゃんのいる家庭を訪問し、絵本や粉ミルク引換券を配布するほか、江別市の子育て情報を提供しています。

## 放課後児童クラブ

市内に27カ所ある放課後児童クラブは、小学生を対象に、保護者または保護者に準ずる方が、昼間仕事などのため家庭にいない場合や病気などで昼間に面倒を見ることができない場合に、申請をすることで利用できます。令和7年度には新たに3カ所開設される予定です。



市が開設する放課後児童クラブの一つ、森の子児童クラブ(文京台7-4)。

## 児童センター

幼児から高校生までのさまざまな年齢の子どもたちが自由に遊ぶことができる児童センターが、市内に7カ所あります。各児童センターには遊びをサポートする児童厚生員が常駐しています。



本を読んだり、カードゲームやボードゲームなどで遊べたりするほか、パドミントンやボール遊びなどで体を動かすこともできます。